

巻末資料

巻末資料1：広域・地域センター向けアンケート

巻末資料2：関係機関向けアンケート

<巻末資料1>

「ワークサンプル幕張版の活用状況に関するアンケート」のお願い

この度、障害者職業総合センター障害者支援部門では、「障害の多様化に対応したワークサンプル幕張版(MWS)改訂に向けた基礎調査」に取り組むこととなりました。

ワークサンプル幕張版(以下、「MWS」という。)の開発当時に想定された対象障害は知的障害、高次脳機能障害が中心でしたが、現在は、発達障害や精神障害に対しても活用範囲が拡大しており、障害の多様化に対応し、障害特性に即した業務を検討するため作業種を整備するために、改訂が必要ではないかと考えております。

そこで、本調査では、広域・地域障害者職業センターのみなさまが「MWSを実際にどのように活用されているのか」、「今後の職業リハビリテーションサービスの展開を考える上で、MWSにどのような改訂を希望されているのか」について調査を行い、今後の改訂について検討を進めたいと考えております。

ご回答いただいた内容につきましては、本研究の目的以外に用いることはなく、また、回答してくださった個人、広域・地域障害者職業センターが特定されるような結果の取りまとめはいたしません。

業務ご多忙の折り、誠に恐縮に存じますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<本調査における“ご回答者”について>

本調査は

「障害者職業カウンセラーとしての経験年数3年目以上、主任障害者職業カウンセラーまでの障害者職業カウンセラー」の方にご回答をお願いしております。

<ご回答に際してのお願い>

- ①ご回答は任意ですが、できるだけ多くの方のご協力をいただけますよう、お願いいたします。
- ②「I. プロフィール」「II. ワークサンプル幕張版の活用について 問1 活用状況」に関しては、プルダウンメニュー一覧と記入例を添付していますので、入力時の参考にしてください。その他の設問の回答は、自由記述以外、全ての回答欄に「○」を設定したプルダウンメニューがありますので、入力の際にご活用ください。
- ③ご回答は、平成24年9月14日までに、下記返信先メールアドレスにご返信ください。
返信先メールアドレス：研究企画部研究部門(障害者支援部門調査用) ●●●●●@jeed.or.jp
※返信にあたっては、誤送信のないようメールアドレスをご確認ください。
- ④このアンケートに関するお問い合わせは、下記連絡先へ、電話またはメールでお願いいたします。
- ⑤頂戴したご回答に関して、担当者から問い合わせをさせて頂く場合がございますが、どうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

障害者職業総合センター障害者支援部門

担当：●● ●●、●● ●、● ●●

<連絡先>

電話：●●●-●●●-●●●●、●●●●

E-mail：●●●●●@jeed.or.jp

「ワークサンプル幕張版の活用状況に関するアンケート」調査票

I. 回答者のプロフィールについて

プルダウンメニュー一覧

回答欄

(1) ワークサンプル幕張版（以下、「MWS」と言う。）の活用経験について、プルダウンメニューの項目から当てはまる項目を1つ選んで入力してください。

活用したことがある
活用したことはない

※「活用したことがある」を選択した方は、(2)～(10)についてご回答ください。

※「活用したことはない」を選択した方は、(2)～(6)及び(11)についてご回答ください。

(2) 現在の年齢に当てはまる年齢層について、プルダウンメニューの項目から当てはまる項目を1つ選んで入力してください。

20～29歳
30～39歳
40～49歳
50歳以上

(3) 平成24年4月時点におけるカウンセラー経験年数について、回答欄に数字を半角で入力してください。なお、これまでに事務職等に職種変更があった場合や育児休暇等を取得したことがある場合、その年数は省いてください。

年

(4) 平成24年4月時点における現在の広域・地域センターでの在職年数について、回答欄に数字を半角で入力してください。今年度着任された方は、一律0年となります。なお、育児休暇等を取得したことがある場合、その年数は省いてください。

年

(5) 平成23年度に担当された業務について、主に担当された業務を「主な担当」のプルダウンメニューの項目から、次によく担当された業務を「他の担当」のプルダウンメニューの項目から、それぞれ1つ選んで入力してください。

主な担当
職業相談・職業評価
ジョブコーチ支援
リワーク支援*
職業準備支援(自立支援)*就労
導入訓練
その他

他の担当

「主な担当」「他の担当」で、“その他”を選択された方は、具体的な担当事業を枠内に入力してください。

主な担当
他の担当

*「主な担当」で、リワーク支援・職業準備支援（自立支援）・就労支援カリキュラム（前発達障害者専門支援）を選択した方にお聞きます。作業支援で取り入れているMWS以外の作業名を入力してください（自由記述）。

(6) 平成23年4月から平成24年3月末までに、ご自身が主に担当した利用者の障害種類を下記から全て選び、その障害名の回答欄にプルダウンメニューの項目から○を選択し、入力してください。また、「その他」を選択した場合は、下記「その他障害名」欄に具体的な障害名を入力してください。

障害名	回答欄	障害名	回答欄	障害名	回答欄
身体障害		知的障害		発達障害	
精神障害		高次脳機能障害		その他	
※その他の障害名					

※(7)～(10)は設問(1)で「活用したことがある」を選択した方のみ回答してください。

(7) 部門が作成したMWS実施マニュアル13冊の活用状況はいかがですか？プルダウンメニューの項目から当てはまる項目を1つ選んで入力してください。

13冊全て読み、活用している
必要なものだけを読み、活用している
保管しているのは知っているが、活用し
どこに保管しているのか、知らない

(8) 部門が作成した「MWS訓練版結果整理票」の活用状況はいかがですか？プルダウンメニューの項目から当てはまる項目を1つ選んで入力してください。

よく活用している
時々、活用している
存在は知っているが、活用していない
存在を知らない

(9) 部門が作成した「簡易版MWS結果整理票」の活用状況はいかがですか？プルダウンメニューの項目から当てはまる項目を1つ選んで入力してください。

よく活用している
時々、活用している
存在は知っているが、活用していない
存在を知らない

(10) 部門が作成したDVD「職場適応促進のためのトータルパッケージの理解と活用のために」の活用状況はいかがですか？プルダウンメニューの項目から当てはまる項目を1つ選んで入力してください。

全て見て、活用している
必要なものだけを見て、活用している
保管しているのは知っているが、活用し
どこに保管しているのか、知らない

※引き続き「活用状況」ワークシートに進んでください。

(11) 設問(1)で「活用しない」を選択した方にお聞きします。MWSを活用していない理由は何ですか？当てはまる理由を全て選び、回答欄にプルダウンメニューの項目から〇を選択し、入力してください。また、その他の理由がありましたら、自由記述で入力してください。

活用していない理由	回答欄
①時間がかかる	<input type="radio"/>
②評価や訓練を行うのに、十分な作業量ではない	<input type="radio"/>
③効果的な使い方が分からない	<input type="radio"/>
④効果に疑問がある	<input type="radio"/>
⑤他に使っている作業課題、検査で間に合う	<input type="radio"/>
⑥実施するのに必要なパソコンやスペースが足りない	<input type="radio"/>
⑦評価やMWS活用が想定される事業を担当していなかった	<input type="radio"/>
⑧その他（自由記述）：	<input type="radio"/>

※引き続き、「要望」ワークシートの「Ⅲ. 改訂に関する要望について」に進んでください。

II. ワークサンプル幕張版の活用について

平成23年4月から平成24年3月末までに、MWSを活用した状況について、お尋ねします。

問1 活用状況

I. プロフィールの設問(6)で選択した「平成23年4月から平成24年3月末までに、主に担当した障害の利用者」それぞれに対してMWSの各作業課題を、どの活用場面でどのように活用されたかについて、該当する内容をプルダウンメニューから1つ選び、入力してください。なお、該当期間内において、支援を担当しなかった障害種及び活用場面のセルに関しては、空白のままにしてください。

＜プルダウンメニューの内容と記入上の注意＞

- | | |
|---------------------------|---|
| ①自分が実施者となり、必ず使った | ②対象者の状況によって、自分が実施者となり、使うことがあった |
| ③アシスタントや指導員等に依頼し、必ず使った | ④対象者の状況によって、アシスタントや指導員等に依頼し、使うことがあった |
| ⑤作業支援のメニューに組み込まれており、必ず使った | ⑥作業支援のメニューに組み込まれており、対象者の状況によって、使うことがあった |
| ⑦自分もアシスタントや指導員等もあまり使わなかった | ⑧自分もアシスタントや指導員等も全く使わなかった |
| ⑨①と③が混在していた | ⑩①と④が混在していた |
| ⑪②と③が混在していた | ⑫②と④が混在していた |

※各種事業とは、職業相談・職業評価業務以外の事業を全て含みます。具体的には、プロフィールの設問(5)において、地域センターでは、準備支援(自立支援)・就労支援カリキュラム(前発達障害者専門支援)・リワーク支援・ジョブコーチ支援・その他を、広域センターにおいては、導入訓練・その他を指します。

		活用対象者及び活用場面															
		身体障害		精神障害		知的障害		高次脳機能障害		発達障害		その他					
		相談・評価	各種事業	相談・評価	各種事業	相談・評価	各種事業	相談・評価	各種事業	相談・評価	各種事業	相談・評価	各種事業				
MWS簡易版	OA作業	数値入力															
		文書入力															
		コピー&ペースト															
		検索修正															
		ファイル整理															
	事務作業	数値チェック															
		物品請求書作成															
		作業日報集計															
		ラベル作成															
	実務作業	ナブキン折り															
		ピッキング															
		重さ計測															
プラグ・タップ組立																	
MWS訓練版	OA作業	数値入力															
		文書入力															
		コピー&ペースト															
		検索修正															
		ファイル整理															
	事務作業	数値チェック															
		物品請求書作成															
		作業日報集計															
		ラベル作成															
	実務作業	ナブキン折り															
		ピッキング															
		重さ計測															
プラグ・タップ組立																	
ホームワーク版	事務課題	健康管理グラフ															
		宛名作成															
		家計簿作成															
	実務課題	食器洗い															
		洗濯物たたみ															
		包丁の使い方 (野菜の切り方)															

I. プロフィールの設問(5)で
主な担当:職業準備支援
その他の担当:職業相談・職業評価

I. プロフィールの設問(6)で
精神障害・知的障害・発達障害
を選択した場合、

「精神障害／相談・評価、各種事業」
「知的障害／相談・評価、各種事業」
「発達障害／相談・評価、各種事業」

の列について、簡易版からホームワーク版まで、

I. プロフィールの設問(5)で
主な担当:リワーク支援
その他の担当:職業相談・職業評価

I. プロフィールの設問(6)で
精神障害
を選択した場合、

「精神障害／相談・評価、各種事業」

の列について、簡易版からホームワーク版まで、
全てのセルに活用状況を入力してください。

※引き続き「活用の目的と効果」ワークシートに進んでください。

問2 活用の目的と効果

(1) 職業相談・職業評価 (担当ではなかった場合は、回答せず(2) 各種事業に進んでください。)

職業相談・職業評価では、どのような目的でMWSを活用しましたか?下表の項目全てについて、該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから〇を入力してください。また、「1 この目的で活用することがとても多かった」「2 この目的で活用することが多少あった」を選んだ場合、同じ項目について、どのような効果があったか、「効果の選択肢」から該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから〇を入力してください。

なお、各項目以外に目的がありましたら、(14)その他(自由記述)に記入して、「目的」と「効果」それぞれに該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから〇を入力してください。

項目	「目的」の選択肢				「効果」の選択肢			
	1 この目的で活用することがとても多かった	2 この目的で活用することが多少あった	3 この目的で活用することはあまりなかった	4 この目的で活用することは全くなかった	1 とても効果があった	2 多少効果があった	3 あまり効果はなかった	4 全く効果はなかった
(例1) (4)障害の自己受容(※目的の選択肢が「1」「2」の場合、効果も回答し	〇					〇		
(例2) (6)利用者との関係作り(※目的の選択肢が「3」「4」の場合、効果の回答は不要です				〇				
(1)作業遂行力向上 (作業ミスの減少や作業スピードの向上等)								
(2)作業上の不適切行動の抑制 (支援者への過剰な確認行動の抑制等)								
(3)作業上の適性行動の習慣化 (作業終了後のセルフチェックの習慣化等)								
(4)自己認知の促進 (作業上の特徴を取り上げ、それに対する対処行動等を話しあう等)								
(5)障害の自己受容 (作業上に現れる特徴と障害との関連を話し合う等)								
(6)利用者との関係作り								
(7)自信の回復								
(8)作業能力や適性の評価								
(9)情報共有(※)								
(10)補完方法獲得に向けた検討								
(11)易疲労性の評価								
(12)易怒性の評価								
(13)職業情報の提供 (作業体験の付与による職業理解の向上)								
(14-1)その他(自由記述):								
(14-2)その他(自由記述):								

※(9)情報共有について:〇を入力したセルが赤く変化した場合、下記の質問にもお答えください。

Q.具体的にどのような関係者との情報共有を行いましたか?下表のうち、該当するものを全て選び、回答欄にプルダウンメニューから〇を入力してください。

<相談・評価場面での情報共有>

選択肢	回答欄	選択肢	回答欄
①利用者		④家族	
②事業所		⑤情報共有にまで至らなかった	
③関係機関			

問2 活用の目的と効果

(2) 各種事業 (担当ではなかった場合は、回答せず問3結果の活かし方に進んでください。)

各種事業では、どのような目的でMWSを活用しましたか？下表の項目全てについて、該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから〇を入力してください。また、「1 この目的で活用することがとても多かった」「2この目的で活用することが多少あった」を選んだ場合、同じ項目について、どのような効果があったか、「効果の選択肢」から該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから〇を入力してください。

なお、各項目以外に目的がありましたら、(14)その他 (自由記述) に記入して、「目的」と「効果」それぞれに該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから〇を入力してください。

項目	「目的」の選択肢				「効果」の選択肢			
	1 この目的で活用することがとても多かった	2 この目的で活用することが多少あった	3 この目的で活用することはあまりなかった	4 この目的で活用することは全くなかった	1 とても効果があった	2 多少効果があった	3 あまり効果はなかった	4 全く効果はなかった
(例1) (4)障害の自己受容(※目的の選択肢が「1」「2」の場合、効果も回答し	〇				〇			
(例2) (6)利用者との関係作り(※目的の選択肢が「3」「4」の場合、効果の回答は不要です)			〇					
(1) 作業遂行力向上 (作業ミスの減少や作業スピードの向上等)								
(2) 作業上の不適切行動の抑制 (支援者への過剰な確認行動の抑制等)								
(3) 作業上の適性行動の習慣化 (作業終了後のセルフチェックの習慣化等)								
(4) 自己認知の促進 (作業上の特徴を取り上げ、それに対する対処行動等を話しあう等)								
(5) 障害の自己受容 (作業上に現れる特徴と障害との関連を話し合う等)								
(6) 利用者との関係作り								
(7) 自信の回復								
(8) 作業能力や適性の評価								
(9) 情報共有 (※)								
(10) 補充方法獲得に向けた検討								
(11) 易疲労性の評価								
(12) 易怒性の評価								
(13) 職業情報の提供 (作業体験の付与による職業理解の向上)								
(14-1) その他 (自由記述) :								
(14-2) その他 (自由記述) :								

※(9)情報共有について：〇を入力したセルが赤く変化した場合、下記の質問にもお答えください。

Q.具体的にどのような関係者との情報共有を行いましたか？下表のうち、該当するものを全て選び、回答欄にプルダウンメニューから〇を入力してください。

<各種事業場面での情報共有>

選択肢	回答欄	選択肢	回答欄
①利用者		④家族	
②事業所		⑤情報共有にまで至らなかった	
③関係機関			

問3 結果の活かし方

MWSの活用結果をどのように活用しましたか？下表の選択肢①～⑤のうち、ご自身の活用方法に最も近い項目を1つ選択し、回答欄のプルダウンメニューから○を入力してください。支援を担当した経験がない活用場面のセルに関しては、空白のままにしてください。また、各項目以外に結果の活かし方がありましたら、⑥その他（自由記述）に記入して、プルダウンメニューから○を入力してください。

<相談・評価場面での結果の活かし方>

選択肢	回答欄
①評価票等には記録するが、利用者に結果は伝えていない	
②作業時間や正答率等、事実だけを利用者に伝えている	
③②に加えて、ミスの傾向まで利用者に伝えている	
④③に加えて、カウンセラー主導で改善や向上の提案まで利用者に伝えている	
⑤③に加えて、利用者自身にもどうすれば改善や向上できるか考えてもらうようにしている	
⑥その他(自由記述)：	

<各種事業場面での結果の活かし方>

選択肢	回答欄
①評価票等には記録するが、利用者に結果は伝えていない	
②作業時間や正答率等、事実だけを利用者に伝えている	
③②に加えて、ミスの傾向まで利用者に伝えている	
④③に加えて、カウンセラー主導で改善や向上の提案まで利用者に伝えている	
⑤③に加えて、利用者自身にもどうすれば改善や向上できるか考えてもらうようにしている	
⑥その他(自由記述)：	

問4 活用について

MWSを効果的に活用できる自信はどの程度ありますか？下表の項目全てについて、該当する選択肢を1つ選び、プルダウンメニューから○を入力してください。

項目	選択肢			
	1 とても 自信が ある	2 やや 自信が ある	3 あまり 自信が ない	4 全く 自信が ない
(例) ④実施方法等をアシスタントや外部の支援者等に研修する		○		
(1)単独で、簡易版・訓練版とも利用者に実施する				
(2)実施した結果を分析し、解釈する				
(3)分析・解釈した結果を、利用者等にフィードバックする				
(4)実施方法等をアシスタントや外部の支援者等に研修する				
(5)利用者に合わせて、使用するMWSの作業課題を考え、選択する				

※引き続き「要望」ワークシートに進んでください。

※以下の設問には、全員ご回答ください。

Ⅲ. 改訂に関する要望について

MWSの改訂にあたり、どのようなことが必要と思われますか？下記項目から、必要と思う項目全てを選び、プルダウンメニューから○入力してください。また、①から⑬以外に要望等がありましたら、⑭その他（自由記述）に記入し、プルダウンメニューから○を入力してください。

項目	回答欄
①簡易版や訓練版の作業課題を今の数（13種類）より減らしてほしい（*）。	
②簡易版にかかる実施時間を短くしてほしい（*）。	
③今ある訓練版の作業課題のレベルを増やしてほしい（*）。	
④今ある訓練版の作業課題のブロック数を増やしてほしい（*）。	
⑤今よりも作業課題を増やしてほしい（**）。	
⑥グループでできるような作業の仕組みを作ってほしい（**）。	
⑦社会的なスキルも必要になるような作業の仕組みを作ってほしい（**）。	
⑧実施方法を簡単にしてほしい。	
⑨結果の整理を簡単にしてほしい。	
⑩利用者自身の感想や実施後の疲労感等を反映できる様式がほしい。	
⑪マニュアルにある説明の用語を簡単にしてほしい。	
⑫どの作業課題がどのような能力を反映しているのか、明らかにしてほしい。	
⑬実施にかかるコスト（コピー代、実施にかかる手間、習得するまでの時間等）を下げてほしい。	
⑭その他(自由記述)	

※①～⑭に○を入力した項目の中で、特に改訂を望むものを1つ選び、プルダウンメニューからその項目の番号を入力してください。

回答欄

（*）①から④を選択された方にお聞きします。具体的にどの作業課題について、そのように思われますか？それぞれの設問に該当する作業課題を全て選び、プルダウンメニューから○を入力してください。

	①減らしてほしい作業課題		②実施時間を短くしてほしい作業課題（簡易版）	③レベルを増やしてほしい作業課題（訓練版）	④ブロック数を増やしてほしい作業課題（訓練版）
	簡易版	訓練版			
数値入力					
文書入力					
コピー&ペースト					
検索修正					
ファイル整理					
数値チェック					
物品請求書作成					
作業日報集計					
ラベル作成					
ナブキン折り					
ピッキング					
重さ計測					
ブラグ・タップ組立					

（**）⑤から⑦を選択された方にお聞きします。具体的な作業名やイメージしている作業課題、仕組みなどがありましたら、下欄に入力してください（自由記述）。

※これで回答は終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

<巻末資料2>

「ワークサンプル幕張版の活用状況に関するアンケート」のお願い

この度、障害者職業総合センター障害者支援部門では、「障害の多様化に対応したワークサンプル幕張版(MWS)改訂に向けた基礎調査」に取り組むこととなりました。

ワークサンプル幕張版(以下、「MWS」と言う。)の開発当時に想定された対象障害は、知的障害、高次脳機能障害が中心でしたが、現在は、発達障害や精神障害に対しても活用範囲が拡大しており、障害の多様化に対応し、障害特性に即した業務を検討するための作業種を整備するために、改訂が必要ではないかと考えられます。

そこで、本調査では、MWSを実際に活用している支援者のみなさまが「MWSを実際にどのように活用されているのか」、「今後の職業リハビリテーションサービスの展開を考える上で、MWSにどのような改訂を希望されているのか」について調査を行い、今後の改訂について検討を進めたいと考えております。

ご回答いただいた内容につきましては、本研究の目的以外に用いることはなく、また、回答してくださった個人、施設名等が特定されるような結果の取りまとめはいたしません。

業務ご多忙の折り、誠に恐縮に存じますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<本調査における“ご回答者”について>

本調査は、「平成23年度中に実際にMWSを活用した」方にご回答をお願いしております。

※複数名で活用された場合は、最大2名まで(各機関において回答者は任意でお選びください)、お一人で活用の場合は、その方にご回答をお願いいたします。

<ご回答に際してのお願い>

- ①ご回答は、平成24年9月28日までに、それぞれ同封の返信用封筒にて、郵送でご返信ください。
- ②このアンケートに関するお問い合わせは、下記連絡先へ、電話またはメールでお願いいたします。

障害者職業総合センター障害者支援部門

担当：●● ●●、●● ●、● ●●

<連絡先>

電話：●●●●-●●●●-●●●●●、●●●●●

E-mail：●●●●●@jeed.or.jp

「ワークサンプル幕張版の活用状況に関するアンケート」調査票

I. 回答者のプロフィールについて

あなた自身のことについてお尋ねします。

(1) 現在の年齢にあてはまる年齢層について、下記の選択肢から1つ選んで、その番号に○を記入してください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 | 4. 50歳以上 |
|-----------|-----------|-----------|----------|

(2) 平成24年4月時点におけるご自身の就労支援（または復職支援）の経験年数を記入してください。なお、育児休暇等を取得したことがある場合、その年数は省いてください。

□□□□年

(3) ご自身がお持ちの資格がありましたら、下記の選択肢から全て選んで、その番号に○を記入してください。なお、「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容を記入してください。

- | | | | | |
|-------------|-----------------|------------|----------|--------------|
| 1. 医師 | 2. 看護師 | 3. 作業療法士 | 4. 理学療法士 | 5. 言語聴覚士 |
| 6. 教員 | 7. 社会福祉士 | 8. 精神保健福祉士 | 9. 臨床心理士 | 10. 産業カウンセラー |
| 11. 職業訓練指導員 | 12. その他（具体的に：) | | | |

(4) 平成23年4月から平成24年3月末までに、ご自身が主に担当した利用者の障害種類を全て選んで、その番号に○を記入してください。また、「その他」を選んだ場合は、具体的な障害名を()内に記入してください。

- | | | | |
|---------|---------------|---------|------------|
| 1. 身体障害 | 2. 精神障害 | 3. 知的障害 | 4. 高次脳機能障害 |
| 5. 発達障害 | 6. その他（障害名：) | | |

(5) 当部門が作成したMWS実施マニュアルについて、活用状況はいかがですか？下記の選択肢から当てはまるものを1つ選んで、その番号に○を記入してください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 全て読み、活用している | 2. 必要なものだけ読み、活用している |
| 3. 保管しているのは知っているが、活用していない | 4. どこに保管しているのか、知らない |

(6) 当部門が作成した「MWS訓練版結果整理票」について、活用状況はいかがですか？下記の選択肢から当てはまるものを1つ選んで、その番号に○を記入してください。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. よく活用している | 2. 時々活用している |
| 3. 存在は知っているが、活用していない | 4. 存在を知らない |

(7) 当部門が作成した「簡易版MWS結果整理票」について、活用状況はいかがですか？下記の選択肢から当てはまるものを1つ選んで、その番号に○を記入してください。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. よく活用している | 2. 時々活用している |
| 3. 存在は知っているが、活用していない | 4. 存在を知らない |

(8) 当部門が作成したDVD「職場適応促進のためのトータルパッケージの理解と活用のために」について、活用状況はいかがですか？下記の選択肢から当てはまるものを1つ選んで、その番号に○を記入してください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 全て見て、活用している | 2. 必要なものだけ見て、活用している |
| 3. 保管しているのは知っているが、活用していない | 4. どこに保管しているのか、知らない |

Ⅱ. 所属機関について

所属されている機関についてお尋ねします。

(1) 所属されている機関の種類について、下記の選択肢から当てはまる種類を1つ選んで、その番号に○を記入してください。また、「その他」を選んだ場合は、具体的な内容を()内に記入してください。

- | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 1. 医療機関 | 2. 福祉機関 | 3. 教育機関 | 4. 公的機関 |
| 5. 職業能力開発機関 | 6. 企業 | 7. その他（具体的に |) |

(2) 所属機関では、就労支援（または復職支援）を始めて何年になりますか？就労支援実施年数について、回答欄に数字を記入してください。

	年
--	---

(3) 所属機関では、MWSのどの作業課題をお持ちですか？お持ちの作業課題を全て選び、回答欄に○を記入してください。

作業課題	回答欄	作業課題	回答欄
MWS簡易版		MWS訓練版 物品請求書作成	
MWS訓練版 数値入力		MWS訓練版 作業日報集計	
MWS訓練版 文書入力		MWS訓練版 ラベル作成	
MWS訓練版 北°-&^°-スト		MWS訓練版 ナブキン折り	
MWS訓練版 検索修正		MWS訓練版 ピッキング	
MWS訓練版 ファイル整理		MWS訓練版 重さ計測	
MWS訓練版 数値チェック		MWS訓練版 プラグ・タッパ 組立	

Ⅲ. ワークサンプル幕張版(MWS)の活用について

平成23年4月から平成24年3月末までに、MWSを活用した状況について、お尋ねします。

問1 活用状況

I. プロフィールでの設問(3)で選択した「平成23年4月から平成24年3月末までに、主に担当した障害の利用者」それぞれに対して、MWSの各作業課題をどのような頻度で活用されたかについて、該当する部分に、下記の選択肢から頻度を1つ選択し、その番号を記入してください。なお、所属機関で所有されていないMWSの作業課題に関しては、空白のままにしてください。

※次ページに「記入例」がありますので、参考にしてください。

- | | | |
|-------|--------------|--------------------------|
| ＜選択肢＞ | 1. 必ず使った | 2. (対象者の状況によって)使うことが多かった |
| | 3. あまり使わなかった | 4. 全く使わなかった |

		活用対象者の障害種類						
		身体障害	精神障害	知的障害	高次脳機能障害	発達障害	その他	
MWS簡易版	○A作業	数値入力						
		文書入力						
		コピー&ペースト						
		検索修正						
		ファイル整理						
	事務作業	数値チェック						
		物品請求書作成						
		作業日報集計						
		ラベル作成						
	実務作業	ナプキン折り						
		ピッキング						
		重さ計測						
プラグ・タップ組立								
MWS訓練版	○A作業	数値入力						
		文書入力						
		コピー&ペースト						
		検索修正						
		ファイル整理						
	事務作業	数値チェック						
		物品請求書作成						
		作業日報集計						
		ラベル作成						
	実務作業	ナプキン折り						
		ピッキング						
		重さ計測						
プラグ・タップ組立								

記入例

問1 活用状況

I. プロフィールでの設問(3)で選択した「平成23年4月から平成24年3月末までに、主に担当した障害の利用者」それぞれに対して、MWSの各作業課題をどのような頻度で活用されたかについて、該当する部分に、下記の選択肢から頻度を1つ選択し、その番号を記入してください。なお、所属機関で所有されていないMWSの作業課題に関しては、空白のままにしてください。

※次ページに「記入例」がありますので、参考にしてください。

<選択肢>

1. 必ず使った 2. (対象者の状況によって)使うことが多かった
3. あまり使わなかった 4. 全く使わなかった

(例1)プロフィールの設問(3)で「精神障害」「知的障害」「高次脳機能障害」「発達障害」を選択し、所属機関でMWS簡易版を所有している場合

※『数値入力』に関して、「精神障害」「高次脳機能障害」には“必ず”使い、「知的障害」「発達障害」は“状況に応じて使うことが多かった”とすると…

		活用対象者の障害種類					
		身体障害	精神障害	知的障害	高次脳機能障害	発達障害	その他
O A 作	数値入力		1	2	1	2	
	文書入力						
	コピー&ペースト						

(例1)の場合、担当している障害種類の列全てに、所有しているMWS簡易版の活用状況を記入します。
簡易版の場合、13課題全てそろっていますので、残りの文書入力からプラグ・タップ組立までの全ての作業課題について活用状況を記入してください。
※全セットをお持ちの場合は、MWS簡易版、MWS訓練版の両方に活用状況を記入してください。

(例2)プロフィールの設問(3)で「精神障害」のみを選択し、所属機関で所有しているMWSは訓練版『事務作業』の4課題のみの場合

※「数値チェック」は“必ず”使い、「物品請求書作成」「作業日報集計」は“状況に応じて使うことが多く”、「ラベル作成」は“全く使っていなかった”とすると…

		活用対象者の障害種類					
		身体障害	精神障害	知的障害	高次脳機能障害	発達障害	その他
M W S 訓 練 版	O A 作 業	数値入力					
		文書入力					
		コピー&ペースト					
		検索修正					
		ファイル整理					
	事 務 作 業	数値チェック		1			
		物品請求書作成		2			
		作業日報集計		2			
		ラベル作成		4			

(例2)の場合、精神障害の列で、MWS訓練版事務作業の4課題の部分のみを記入します。
残りの障害種類の列や所有していないMWSの課題の部分は、何も記入しなくて結構です。

問2 活用の目的と効果

どのような目的でMWSを活用しましたか？下表(1)から(13)の全てについて、「目的」の選択肢から該当する選択肢を1つ選び、○を記入してください。また、「1 この目的で活用することがとても多い」「2この目的で活用することが多少ある」を選んだ場合、同じ項目について、どのような効果があったか、「効果」の選択肢から該当する選択肢を1つ選び、○を記入してください。

なお、各項目以外に目的や効果がありましたら、(14)その他に記入し（自由記述）、「目的」と「効果」それぞれに該当する選択肢を1つ選び、○を記入してください。

項目	「目的」の選択肢				「効果」の選択肢			
	1 とても目的が多かった	2 多少あった	3 あまりなかった	4 全くなかった	1 とても効果があった	2 多少効果があった	3 あまり効果はなかった	4 全く効果はなかった
(例1) (4)障害の自己受容(※目的の選択肢が「1」「2」の場合、効果も回答します)		○				○		
(例2) (6)利用者との関係作り(※目的の選択肢が「3」「4」の場合、効果の回答は不要です)			○					
(1)作業遂行力向上 (作業ミスの減少や作業スピードの向上等)								
(2)作業上の不適切行動の抑制 (支援者に対する過剰な確認行動の抑制等)								
(3)作業上の適正行動の習慣化 (作業終了後のセルフチェックの習慣化等)								
(4)自己認知の促進 (作業上の特徴を取り上げ、それに対する対処行動等を話し合う等)								
(5)障害の自己受容 (作業上に現れる特徴と障害との関連を話し合う等)								
(6)利用者との関係作り								
(7)自信の回復								
(8)作業能力や適性の評価								
(9)情報共有(※)								
(10)補完方法獲得に向けた検討								
(11)易疲労性の評価								
(12)易怒性の評価								
(13)職業情報の提供 (作業体験の付与による職業理解の向上)								
(14-1)その他(自由記述)								
(14-2)その他(自由記述)								

※(9)情報共有について「この目的で活用することがとても多かった」「この目的で活用することが多少あった」を選択した方は、下記の質問にもお答えください。

具体的にどのような関係者と情報共有を行いましたか？該当する選択肢を全て選び、回答欄に○を記入してください。

選択肢	回答欄	選択肢	回答欄
①利用者		④家族	
②事業所		⑤情報共有にまで至らなかった	
③関係機関			

問3 結果の活かし方

MWSの活用結果をどのように活用しましたか？①から⑥の選択肢のうち、該当する選択肢を1つ選び、回答欄に○を記入してください。また、5つの選択肢以外に結果の活かし方がありましたら、⑥その他に記入し（自由記述）、回答欄に○を記入してください。

選択肢	回答欄
①評価票等には記録するが、利用者に結果は伝えなかった	
②作業時間や正答率等、事実だけを利用者に伝えた	
③②に加えて、ミスの傾向まで利用者に伝えた	
④③に加えて、支援者主導で改善や向上の提案まで利用者に伝えた	
⑤③に加えて、利用者自身にもどうすれば改善や向上できるか考えてもらうようにした	
⑥その他(自由記述)	

問4 活用について

MWSを効果的に活用できる自信はどの程度ありますか？下表の項目全てについて、該当する選択肢を1つ選び、○を記入してください。

項目	選択肢			
	1 とても 自信がある	2 やや 自信がある	3 あまり 自信がない	4 全く 自信がない
(例) (2)実施した結果を分析し、解釈する			○	
(1)単独で、簡易版・訓練版とも利用者に実施する				
(2)実施した結果を分析し、解釈する				
(3)分析・解釈した結果を、利用者等にフィードバックする				
(4)実施方法等を施設内外の支援者等に研修する				
(5)利用者に合わせて、使用するMWSの作業課題を考え、選択する				

IV. 改訂に関する要望について

MWSの改訂にあたり、どのようなことが必要と思われますか？①から⑬の項目のうち、該当する項目全てを選び、回答欄に○を記入してください。また、①から⑬以外に要望等があれば⑭その他(自由記述)に記入し、回答欄に○を記入してください。

項目	回答欄
①簡易版や訓練版の作業課題を今の数(13種類)より減らしてほしい(*)。	
②簡易版にかかる実施時間を短くしてほしい(*)。	
③今ある訓練版の作業課題のレベルを増やしてほしい(*)。	
④今ある訓練版の作業課題のブロック数を増やしてほしい(*)。	
⑤今よりも作業課題の種類を増やしてほしい(**)。	
⑥グループでできるような作業の仕組みを作ってほしい(**)。	
⑦社会的なスキルも必要になるような作業の仕組みを作ってほしい(**)。	
⑧実施方法を簡単にしてほしい。	
⑨結果の整理を簡単にしてほしい。	
⑩利用者自身の感想や実施後の疲労感等を反映できる様式がほしい。	
⑪マニュアルにある説明の用語を簡単にしてほしい。	
⑫どの作業課題がどのような能力を反映しているのか、明らかにしてほしい。	
⑬実施にかかるコスト(コピー代、実施にかかる手間、習得するまでの時間等)を下げてほしい。	
⑭その他(自由記述)	

回答欄

※①から⑭に○を入力した項目の中で、特に改訂を望むものを1つ選び、その項目の番号を記入してください。

(*) ①から④を選択された方にお聞きます。具体的にどの作業課題について、そのように思われますか？それぞれの設問に該当する作業課題を全て選び、○を記入してください。

	①減らしてほしい作業課題		②実施時間を短くしてほしい作業課題(簡易版)	③レベルを増やしてほしい作業課題(訓練版)	④ブロック数を増やしてほしい作業課題(訓練版)
	簡易版	訓練版			
数値入力					
文書入力					
コピー&ペースト					
検索修正					
ファイル整理					
数値チェック					
物品請求書作成					
作業日報集計					
ラベル作成					
ナブキン折り					
ピッキング					
重さ計測					
プラグ・タップ組立					

(**) ⑤から⑦を選択された方にお聞きます。具体的な作業名やイメージしている作業課題、仕組みなどがありましたら、下欄に記入してください(自由記述)。

※これで回答は終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

ホームページについて

本冊子のほか、障害者職業総合センターの研究成果物については、一部を除いて、下記のホームページからPDFファイル等によりダウンロードできます。

【障害者職業総合センター研究部門ホームページ】

<http://www.nivr.jeed.go.jp/research/research.html>

著作権等について

視覚障害その他の理由で活字のままではこの本を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。その際は下記までご連絡下さい。

なお、視覚障害者の方等で本冊子のテキストファイル（文章のみ）を希望されるときも、ご連絡ください。

【連絡先】

障害者職業総合センター研究企画部企画調整室

電話 043-297-9067

FAX 043-297-9057

資料シリーズ No. 72

「障害の多様化に対応したワークサンプル幕張版(MWS)改訂に向けた基礎調査」

編集・発行 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター
〒261-0014
千葉県美浜区若葉 3-1-3
電話 043-297-9067
FAX 043-297-9057

発行日 2013年3月
印刷・製本 株式会社白樺写真工芸



NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

ISSN 0918-4570



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。